

ひびき新聞 自由民主党 衆議院議員 **たばた裕明** ひろあき

富山事務所 〒930-0017 富山市東田地方町2丁目2-5
TEL:076-471-6036 / FAX:076-471-6037

国会事務所 〒100-8982 千代田区永田町2丁目1-2
衆議院第2議員会館214号室
TEL:03-3508-7704 / FAX:03-3508-3454

LINE Facebook Twitter 公式HP

公式SNS・WEBSITE

コロナ後の経済 傷ついた雇用をどう守る?

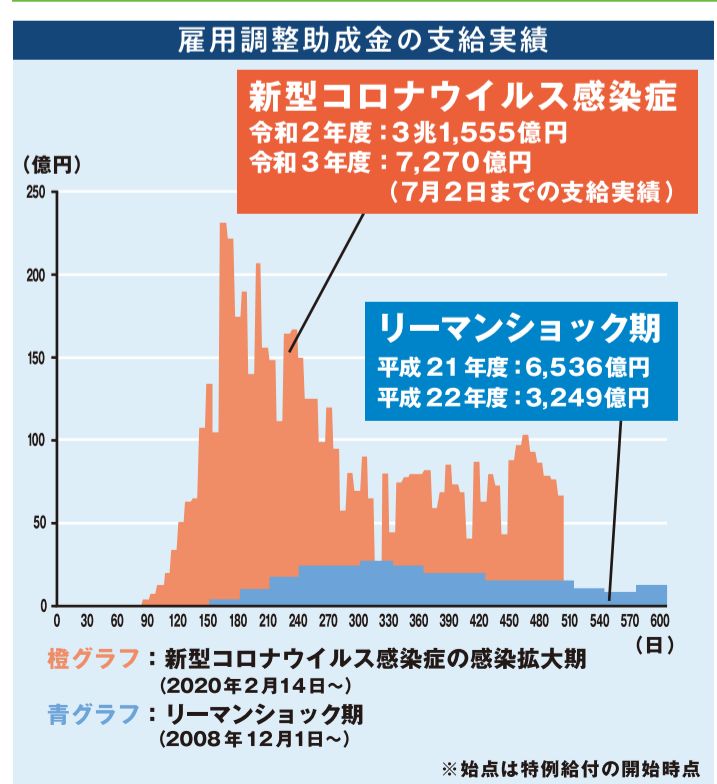
元厚生労働大臣 政務官 自民党雇用問題調査会 事務局長

雇用調整助成金の特例措置
新型コロナの影響で売上げが減った企業が休業手当を支給し従業員を休ませた場合
1日1人当たり1万5000円を上限に給付
特例措置 6月末で終了予定
5月末に方針転換 7月末まで延長

6月16日 BS11「報道ライブインサイドOUT」に生放送出演し、コロナ後の経済対策や傷ついた雇用をどう守るかについて議論。田畑が取り組んできた雇用調整助成金の特例措置やその延長のあり方、在籍型出向制度の創設経緯、生活困窮者支援や飲食業・宿泊業・地方の運輸業等の支援についても見解を述べる。



2月17日 NHK 総合テレビで生中継された予算委員会にて、自民党を代表し質問に立つ！ワクチン接種の注意点や非正規労働者の雇用改善について、菅総理と真剣な討論を行う。



衆議院議員として10年目を迎えて

コロナ禍で著しい被害を被った日本の社会経済。中でも感染拡大当初から懸念されたのが雇用情勢だ。自民党雇用問題調査会事務局長を務める田畑は昨年春以降、雇用を守るという強い使命感のもと、雇用調整助成金について①申請手続きの簡素化、②特例措置の創設、③アルバイト・パート労働者への適用等に取り組んできた。雇用調整助成金の支給実績は3兆8千億円余に上り、リーマンショック時の3.5倍強の水増しだ。(令和2年4月〜令和3年7月)

雇用・労働分野の政策に精通し同僚の信頼も厚い田畑。労働者に寄り添ったポストコロナ時代の働き方改革推進や、個人が選択し職務スキルを身につけることのできる労働市場づくりに向けて、今後も国政でしっかりとリーダーシップを発揮すると意欲に燃えている。

「希望する全世代にワクチンの円滑な接種を進めることが大事だ。国産ワクチンや国産治療薬の開発にも政府を挙げてスピード感をもって取り組まねばならない。国民の生活を守るために解決しなければならぬ課題は多い。『安心できる日常』を取り戻すために政府にどんどん提言し改善に導いていきたい。』と熱く語った。

「幸せ日本一とやま」実現のため 藤井市政としっかり連携して参ります!

4月の富山市長選挙で藤井裕久富山市長が新たに誕生した。田畑とは富山県議会の当選同期であり、ともにふるさと富山の発展のため政策実行に切磋琢磨した気心の知れた同志。富山市長選挙において藤井氏を全力で応援した田畑は、当選を心から喜ぶとともに「新田知事も足並みをそろえ、国政



ワクチン供給や接種体制の充実のため 政府にしっかり働きかけを!



大規模接種会場を視察

5月17日から富山市内での高齢者向けワクチン接種が始まった。富山市内の医療機関での接種のほか、富山市、富山県がそれぞれ大規模接種会場を設定し、市民の接種体制の強化充実に向けている。職域接種も始まっており、田畑は政府との強いパイプを活かし、適時的確にワクチン供給量などを自治体へ報告している。田畑は「ワクチンは感染収束の決め手。一日も早く希望する市民の方に接種が行き届くために動き続けたい」と語る。

富山市議選挙 自民党公認候補 全員当選!

4月に執行された市議選挙において自民党公認24名、推薦1名全員が当選した。国会会期中につき、田畑は昼は東京、夜は富山と毎日往復しながら各陣営の応援に駆け回った。今回当選した新人は8名。フレッシュな顔ぶれは田畑とともに、毎週の街頭遊説で政策をアピールしている。

等身大の たばた裕明

「第一話「わんぱく盛り」の息子と」

皆さま、日頃より大変お世話になりました。感謝申し上げます。

最近、我が家がカブトムシがやってきました！主人が友人の方から頂いたのです。4歳の長男は昆虫大好き。アリやダンゴ虫、バッタを見れば触り出す。そんな様子を知った友人がカブトムシを分けてくれたのです。

さっそく飼育ゲージや土マット、登り木をホームセンターで購入し、家族で整えました。しかし昆虫好きの息子も、そして私も恐ろしくカブトムシは触れません(笑)。ということでセティングから日々の餌やりは主人の仕事となりました！息子は私をそばで『飛ばない？脱走したらどうする？』と騒いでいるだけの状態です(笑)。でも主人が不在の日もあるので、少しずつカブトムシに慣れていきたいと思います！

ちなみに、オスとメス一匹ずついただき、七夕の季節に我が家に来たことから、息子が「ひこぼしくん」とお名前を付けてくれました。飼育ゲージに入った二匹は気が付けば土の中に潜っていました。カブトムシを初めて飼う私たちは突然どこに消えてしまったのかとゲージの中を凝らして探していました！そして翌朝、再び姿を見た時には息子も大喜びでした！カブトムシのこれから成長もとても楽しみです！我が家で育てたい、いえなにせ初心者なのでカブトムシの飼育に詳しい方がいらつしやいましたら是非教えていただきたと思います！☆

妻・あきこ

国会議員として 9年半働き、各政策の 取りまとめ役を 多く任されています。

雇用政策、社会保障政策を
中心に同僚議員、官僚から
信頼される議員へ！！

事務局長を務めている政策勉強会

- 自民党**
- 雇用問題調査会事務局長 2期連続
 - 雇用問題調査会 ポストコロナ時代におけるテレワーク推進小委員会事務局長
 - 外国人労働者等特別委員会 事務局長
 - 虐待等に関する特命委員会 事務局長
 - いわゆる「ひきこもり」の社会参画を考えるPT 事務局長
 - 社会保障制度調査会 介護委員会 事務局長
 - 社会保障制度調査会 医療委員会 難病等に関するPT 事務局長
- 議員連盟**
- LRT推進議員連盟 事務局長
 - 認知症グループホームを考える議員連盟 事務局長

※事務局長の職務は会議の準備や講師の手配、協議事項の整理、各議員や業界団体からの意見・要望の取りまとめ、政府への政策提言の取りまとめ、報道記者への説明等、多岐にわたります。

2020年10月～現在 国会対策副委員長 2期連続で務める (厚生労働委員会担当)

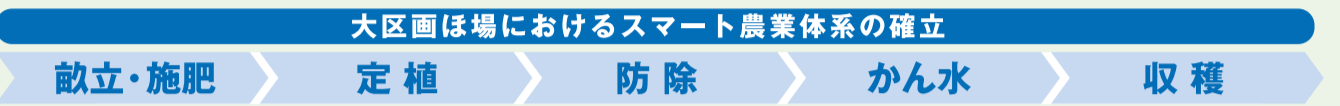
国営農地再編整備事業 水橋地区 (農林水産省直轄工事)

水橋地区では、用排水路の老朽化による排水不良が生じていたり、農道が狭小であるために大型機械が通れず効率的な農作業が妨げられていたり、収益性のある安定した農業経営が展開できない状態にある。このため、農地の大区画化・汎用化等の区画整理を施行し、土地利用の再編を進めることにより農業生産性の向上を図る事業を国営で進めている。

総事業費 260 億円 事業期間 令和3年度～令和15年度
※令和3年10月より計画確定・事業着手予定。(令和3年5月28日現在)



▲森雅志富山市長(当時)、水橋地区国営土地改良事業促進協議会の皆様とともに農林水産省・財務省へ要望活動



神通川築堤事業 (国土交通省直轄工事)



▲令和2年7月時点の神通川堤防の築堤工事現場の様子

神通川は急流河川であり洪水の流れが強い一方で、市街地や公共施設を背にする安野屋地区は堤防の高さや幅が不足しているため、堤防の浸食による決壊の危険がある。近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化している水害・土砂災害からの安全向上を図るため堤防整備工事が国土交通省直轄で行われている。

年度	事業費
令和3年度当初予算	11.8億円
令和2年度補正予算	19.9億円

富山港 周辺整備事業 (国土交通省直轄工事)

富山港においては施設の老朽化が課題となっており、岸壁や防波堤を対象とする予防保全事業が国土交通省直轄で実施されている。現在は、2号岸壁の老朽化対策及び耐久性を付加した改良工事が進められている。

事業内容	事業費
2号岸壁老朽化対策(本体工、基礎工)	4.1億円
ダイオキシン類対策(覆砂)	4千万円

センサーネットワーク 利活用促進事業

	平成30年度～令和2年度
事業費	2.8億円
内 国費	1.2億円

センサーネットワークとは？

情報通信技術 (ICT) を利用して、リアルタイムに変動する様々な情報を分析・可視化することで、幅広いサービスへの展開を実現する事業。田畑は「小学校児童にGPSセンサーを配布し登下校路の実態を「見える化」することで、通学路の再設計や交通安全ボランティアの効率的な配置に活用したり、用水の水位をセンサーで観測することで防災に向けた検証をしたりすることができる。」と考える。



大雪対策

令和3年豪雪で菅総理に緊急支援要請

記録的な大雪に見舞われた令和3年1月。田畑は新潟県・石川県・福井県の自民党国会議員とともに、自らが先頭となって菅義偉総理への緊急支援要請を主導した。除雪体制の強化や生活必需品の円滑供給、また被害を受けた中小企業や農業者への支援を異例の「直談判」。その結果、除雪費用や農業被害に対する財政支援の実現につなげた。



▲令和3年1月12日 1月豪雪災害の支援緊急要請を菅総理に。新潟、石川、福井、富山を代表し4人の国会議員にて

	令和2年度 除雪事業		国からの財政支援	
	除雪(対策)事業費	内 国費	特別交付税(除排雪経費)	
富山県	35.5億円	23.2億円	+	10.8億円
富山市	24.9億円	3.1億円		9.0億円

豪雪に伴う農林水産省からの支援	
国からの交付金	支援内容
農業・担い手づくり総合支援交付金(被災産地施設支援対策)	大雪により被害を受けた産地に対する共同利用施設等の再建・修繕など
農業・担い手づくり総合支援交付金(地域担い手育成支援タイプ)	農業用ハウス等が被災した担い手の再建・修繕と農業経営改善への支援
畜産経営災害総合対策緊急支援事業	損壊した畜舎や機械の補修など

2017年10月～2018年9月 厚生労働大臣政務官→自民党厚生労働部会長代理

水道管路耐震化推進事業

安定的に美味しい水道水を供給するため、老朽化した配水管などの基幹管路の耐震化を行い、信頼性の高い配水システムを構築する事業。厚生労働省からの「生活基盤耐震化施設等交付金」交付にあたり、田畑が継続して予算措置を働きかけている。

富山市の配水幹線整備事業			
年度	全体事業費	生活基盤耐震化施設等交付金	交付金要望額に対する交付率
令和3年度	17.7億円	4.0億円	100.0%
令和2年度	14.2億円	3.9億円	100.0%
令和元年度	10.5億円	2.7億円	100.0%
平成30年度	13.1億円	2.5億円	100.0%
平成29年度	12.2億円	3.1億円	77.1%

2018年10月～2019年9月 厚生労働委員会理事

教室のエアコン設置事業 トイレ洋式化事業

子供たちの学習環境、学校生活の快適さのため スピード感をもって予算措置に尽力しました

富山市内の公立小中学校普通教室のエアコン設置率は平成30年時点で0%であった。改善が急務であると判断した田畑は、当時の森雅志富山市長とともに文部科学省へ要望活動を行う。その結果、令和3年現在では設置率100%を達成するまでとなった。

富山市内の公立小中学校普通教室の空調整備事業		平成30年度～令和2年度
小・中学校	普通教室数	1,181室
	設置率	100%
事業費		23.5億円
内 国費		5.6億円

富山市は令和元年度に公立小中学校の「トイレ環境改善事業」を実施した。その結果、当時全国平均の約54%とほぼ同じだったトイレ洋式化率は94.1%まで上昇した。

富山市内の公立小中学校トイレ環境改善事業		令和元年度
小・中学校	台数(洋式)	3,788台
	洋式化率	94.1%
事業費		12.7億円
内 国費		1.4億円

2019年10月～2020年9月 国会対策副委員長 (文部科学委員会)

新型コロナウイルス感染症対策に奔走 ～補正予算・予備費での対応～

令和2年度は新型コロナ感染症対策として本予算、第1次～第3次に亘る補正予算を組み、まさに異次元の予算措置で対応した政府。田畑も医療機関等や産業界、労働者など様々な主体から直接要望をお聞きし、政府による迅速な支援を何度も提言した。



▲石川1区選出の馳議員と福井1区選出の稲田議員と田畑の3人で情報交換

新型コロナウイルス感染症に関する補正予算・予備費での主な対応 (厚生労働省関係)		
年度	名称	合計額
3 令和2年度	当初予算	9.4兆円
	第三次補正予算	4兆5,155億円
	新型コロナウイルス感染症対策予備費 (令和2年12月25日閣議決定)	2,693億円
令和2年度	新型コロナウイルス感染症対策予備費 (令和2年12月11日閣議決定)	737億円
	新型コロナウイルス感染症対策予備費 (令和2年10月16日閣議決定)	4,391億円
	新型コロナウイルス感染症対策予備費 (令和2年9月15日閣議決定)	1兆6,350億円
	新型コロナウイルス感染症対策予備費 (令和2年9月8日閣議決定)	6,174億円
	新型コロナウイルス感染症対策予備費 (令和2年8月7日閣議決定)	2,107億円
	第二次補正予算 (令和2年6月12日成立)	4兆9,733億円
令和元年度	第一次補正予算 (令和2年4月30日成立)	1兆6,371億円
	新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策-第2弾- (令和2年3月10日閣議決定)	3,168億円
	新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策 (令和2年2月13日閣議決定)	139億円

任期4年間の足跡